平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	208		
会計	一般会計				
事務事業名	観光施設管理事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H1	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				地域経済活性化プログラム2017
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	飯田市が所有する観光地、観光施設
	意図	良好に維持管理することで観光地域が活性化するようにする

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	建物の老朽化に伴う観光施設の修繕等が増えています。そのため、限られた予算の中で有効な施設整備を行うよう、地域や関係団体と連携をします。 中央アルプスの山岳高原観光を推進していくため、自然環境の保全に配慮した登山道等の整備を行います。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	観光施設の管理を行い、多くの観光客の利便性を高めるために施設の維持、保存に努めます。 杵原学校や大平宿等の公共施設を、有効に活用できるよう管理運営をします。 中央アルプスの登山者が自然環境の保護の自覚を持ちながら、安全に登山ができるように、登山道や遊歩道、摺古木山や安平路山の避難小屋等を管理します。	観光施設の維持管理	4,394
		観光施設の管理業務等委託	8,963
		観光案内所の運営	10,928
		観光施設の使用料、賃借料	2,333
		観光施設負担金	280
		観光施設の整備費	4,849
		その他の経費	300

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	管理施設数	か所	25			
	遊歩道、登山道等の整備	か所	5			
	観光地美化整備	か所	1			
	観光案内所	か所	3			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	32,047	(そ) 諸収入
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	33	
	一般財源	32,014	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	1	27,198 / 0	観光施設管理費
2	1	7	1	4	11	1	4,849 / 0	観光施設整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 208　事業名 観光施設管理事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	209		
事務事業名	観光誘客推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H16	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン	
			地域経済活性化プログラム２０１７	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	国内外からの旅行者
	意図	地域資源の活用と効果的な情報発信による誘客

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	地域資源の更なる掘り起こしと磨き上げにより、地域に根差した観光素材を官民連携で創造し、それを活用することが求められています。インバウンド観光を含めた交流人口の拡大に向けて、おもてなし意識の醸成や受入れ態勢の強化、旅行者の利便性向上や居心地のよい滞在環境の整備、魅力ある観光情報提供が必要です。多様なニーズを持つ来訪者に対応し、滞留、宿泊旅行者を増やしていく必要があります。

29年度取組

取組内容

首都圏における飯田の情報発信拠点や大手観光情報誌等を積極的に活用し、飯田の知名度のさらなる向上を目指します。

県・ＪＲグループ等による「信州ＤＣ」（デスティネーションキャンペーン）を観光振興のチャンスととらえ、全国からの誘客を図ります。

ＴＯＪ南信州ステージでの新規事業として、いなべ・美濃ステージと連携した3ステージ合同の周遊観戦ツアーを開催し、誘客に努めます。

名桜、温泉などの観光資源を活用し、滞在、宿泊者を増やし、インバウンドも視野にいれた誘客宣伝を行い、まちなかをはじめとする市内各地への誘客を図ります。

市内観光拠点へのＷｉ－Ｆｉ環境整備を行います。

経費の内容	事業費(千円)
観光誘客宣伝事業	10,080
自転車のまちづくり	7,200
観光資源保護活用	1,463
名桜鑑賞誘客	1,481
海外誘客促進	138
まちなか誘客促進	486
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
飯田市への旅行者	万人	110			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	20,848	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	20,848	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	2	10,080 / 0	観光誘客宣伝事業費
2	1	7	1	4	10	8	7,200 / 0	自転車のまちづくり事業費
3	1	7	1	4	11	3	1,463 / 0	観光資源保護活用事業費
4	1	7	1	4	13	4	1,481 / 0	名桜鑑賞誘客事業費
5	1	7	1	4	15	1	138 / 0	海外誘客促進事業費
6	1	7	1	4	16	1	486 / 0	まちなか誘客促進事業費
7								

(環境ISO管理)

事業No. 209　事業名 観光誘客推進事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
旅行者車両による ＣＯ２増加	○			×	－	×	×	×	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	28	事業No.	210		
事務事業名	首都圏等交流活動支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	産業振興課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		地域経済活性化プログラム2017
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	首都圏や中京圏等に在住の飯田市出身者で構成される信州飯田ふるさと会連合会など
	意図	交流活動などによるふるさと飯田のＰＲ、首都圏からの支援や人材誘導などの展開

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	ふるさと会の役員及び会員の高齢化が進んでいるため、若い世代の参画が求められます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	首都圏と飯田市の都市間における人的ネットワークの拡大と首都圏における飯田市の認知度向上を図ります。 ・ 信州飯田ふるさと会連合会などを通じた情報収集とふるさと飯田の情報発信 ・ 第10回東京の飯田まつり、信州飯田ふるさと会連合会総会の開催支援 ・ 30～50代の首都圏在住の飯田市出身者を中心としたネットワークづくり	東京の飯田まつり等の開催支援	1,631
		ふるさと会等との交流（情報交換）	78
		その他の経費	59

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	ふるさと会や県人会との交流事業数	回	7			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,768	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,768	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	4	1,768 0	首都圏等交流活動支援事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 210　事業名 首都圏等交流活動支援事業　　産業振興課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	211		
会計	一般会計				
事務事業名	観光まつり振興事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H16	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン	
		○	地域経済活性化プログラム2017	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	観光まつりの参加者及び観光客
	意図	観光まつりを支援し、地域活性化につなげる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	雨が降ったまつりでは、人出に影響がありました。雨が降ることも想定し、まつりの準備が必要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	市民による実行委員会を組織し、地域の振興を目的に企画されている観光的まつりを支援し、直接的誘客を進めます。さらに、市民一体となって参加できるまつりを支援することで、市民自らが飯田のまつりの魅力を外に発信してもらうきっかけとします。 　また、まつりが安全に実施できるように、警備員等の警備体制を確保します。	飯田春夏まつりの実施	4,069
		飯田まつりの実施	6,652
		南信州獅子舞フェスティバル補助金	1,000
		南信州飯田「桜」そば・食彩まつり補助金	300
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	観光まつりの参加者及び観客	万人	10			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	12,021	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	12,021	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	9	12,021 / 0	観光まつり振興事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 211　事業名 観光まつり振興事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
まつりの開催	○			－	×	－	－	－	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	212		
会計	一般会計				
事務事業名	観光協会推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H16	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				地域経済活性化プログラム２０１７
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	飯田観光協会会員
	意図	多様な産業が連携し、飯田市及び付近の観光地、民芸品・物産を紹介宣伝し、観光客の誘客を図る。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	飯田観光協会と飯田市との連携や情報共有が重要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	飯田観光協会は、行政と民間が協力して観光振興を行う団体であり、民間主導で観光関連事業を行っています。 （事業内容：飯田観光協会規約より） ①観光資源の整備　②観光施設及び観光案内所の整備及び運営 ③観光事業者等の養成及び研修　④内外の観光客の誘致促進 ⑤内外の観光に関する情報の収集及び提供 ⑥内外の観光に関する調査、研究 ⑦特産品の斡旋、宣伝等販路拡大 ⑧各種関係団体及び会員相互の連絡協調　⑨観光振興事業の企画 ⑩その他 　市は協会と密接に連携し、情報共有をしながら、事業を推進していきます。	飯田観光協会補助金	11,400
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	ホームページ「南信州ナビ」アクセス数	万回	320			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	11,400	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	11,400	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	10	11,400 / 0	飯田観光協会運営事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 212　事業名 観光協会推進事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	213		
会計	一般会計				
事業区分	政策	実施区分	継続		
開始	H18	終了			

事務事業名	観光振興推進事務			
担当課等名	観光課			

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				地域経済活性化プログラム2017
	法令・例規等			

事業目的	対象	飯田下伊那地域を訪れる観光客まちなかを訪れる目的を持った観光客
	意図	タイムリーな観光情報を提供することで、滞留する観光客数を増加させる

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	観光案内業務において、多様なニーズに対応できる情報の収集方法、情報の共有化が必要です。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
観光課の現場事務所として管理運営しています。併せて、中心市街地の観光案内の拠点として、まちなかインフォメーションセンターの機能を兼ね備えます。	インフォメーションセンター管理費	6,980
	公用車等の一般経費	793
	その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
まちなかインフォメーションから情報提供	件	50,000			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費 計	7,773	(そ) 諸収入
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	18	
一般財源	7,755	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	10	12	6,980 / 0	まちなかインフォメーションセンター管理費
2	1	7	1	4	10	14	793 / 0	観光振興一般経費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 213　事業名 観光振興推進事務　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	214		
会計	一般会計				
事務事業名	エコツーリズム推進事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H16	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン	
			地域経済活性化プログラム2017	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	体験型観光を受け入れる農家や団体・個人
	意図	安全・安心で、質の高い受入れを行う

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	体験教育旅行等の安定的な受入れをするため、農家民泊の受入れ農家数を増やすとともに、農家民泊の品質を保持することが求めらています。 　地域の暮らしや文化を素材にしたインバウンド観光を推進するため、体験プログラムや農家民泊の利用者を増やす必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	農家民泊の拡充を図るために、㈱南信州観光公社と連携して、飯田の暮らしや文化に関心をもつ国内外の旅行者をターゲットにした、誘客活動や情報発信を行います。 　また、外国人旅行者の受入れに対しては、接遇に関する研修会等を実施し、異文化への理解を深めるとともに、双方にとって有益な受入れ態勢づくりに取り組んでいきます。	体験型観光推進事業費	1,045
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	農家民泊の受入れ農家の数	戸	125			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,045	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,045	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	13	13	1,045 0	体験型観光推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 214　事業名 エコツーリズム推進事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
地域環境への理解促進	○			－	－	－	○	○○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	215		
事務事業名	天龍峡まちづくり支援事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H19	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		飯田市観光振興ビジョン	
			地域経済活性化プログラム2017	
			名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	天龍峡の観光客
	意図	地域交流人口の増加

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	天龍峡再生プログラムによるおもてなしや、ご案内人よる遊歩道散策が一定の成果を上げ、天龍峡を訪れる観光客数の増加につながっています。 　これまで整備を進めてきた既存遊歩道・園路の改修がおおむね終わり、天龍峡温泉交流館の建替え工事にも着手しました。今後、開通が予定される天龍峡大橋を新たな天龍峡の魅力とし連携させ、観光客数の増加につなげます。

29年度取組

取組内容

「天龍峡再生プログラム」に位置付けられた事業を実施し、天龍峡の再生・活性化を図ります。
　「名勝天龍峡整備計画」による事業を実施し「名勝天龍峡」の適切な保存管理と活用を図ります。
1．名勝天龍峡整備事業の実施
2．天龍峡観光案内所運営及びご案内人の育成
3．地元関係団体の活動支援や観光情報の発信、誘客事業の実施

経費の内容	事業費(千円)
天龍峡温泉交流館建替え工事費	230,920
天龍峡観光案内業務等委託費	7,674
天龍峡まちづくり支援事業等負担金	2,030
土地借地料等	2,923
景観整備等業務委託料	2,000
委員会等報酬　等	121
天龍峡温泉交流館竣工式負担金	700
その他の経費	600

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
天龍峡及び天竜川下り舟の観光客数	人	353,000			
天龍峡をご案内人が案内した人数	人	6,000			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	246,968
国庫支出金	1,000
県支出金	0
地方債	219,300
その他	288
一般財源	26,380

特定財源内訳及び補足事項

(国)国宝重要文化財等保存整備補助金(5/10)
(地)合併特例(充当率95%)
(そ)諸収入

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	14	6	244,847 / 0	天龍峡活性化事業費
2	1	7	1	4	14	7	2,121 / 0	名勝天龍峡整備事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 215　事業名 天龍峡まちづくり支援事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
観光イベントの開催	○			―	×	―	―	―	―		廃棄物処理法	観光イベントでのごみ発生量削減	○	○
											名勝天龍峡の景観保全整備		○	○
森林環境整備事業	○			―	×	○	○	―	○○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	216		
会計	一般会計				
事務事業名	天龍峡温泉交流館管理事業	事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H19	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				地域経済活性化プログラム2017
				名勝天龍峡整備計画、名勝天龍峡保存管理計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	天龍峡温泉交流館の利用者
	意図	地域交流人口の増加

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	天龍峡再生のおける当施設の役割を明確にし、平成２７年度より指定管理制度を導入し平成２８年度は施設の建替え工事に着手するとともに、食堂部分のみ指定管理を行っています。 今後は、周辺施設と連携して利用者の増加を図っていきます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	新たに整備された天龍峡温泉交流館を指定管理者と連携し、温泉や郷土食「天龍峡そば」を活用し天龍峡観光の拠点となるように管理運営を行います。 １．天龍峡温泉交流館の管理運営の実施 ２．利用者拡大の取り組みとして宣伝広告の実施や、地域イベントとの連携や参画を実施していきます。	建物保険料	80
		指定管理業務委託料	5,000
		土地借地料	1,220
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	天龍峡温泉交流館利用者数	人	25,000			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	6,300	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	6,300	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	4	7	1	4	14	8	6,300 / 0	天龍峡温泉交流館管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 216　事業名 天龍峡温泉交流館管理事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
木質ペレットの使用	○			×	－	○	－	○	－		消防法	消防設備の定期点検(年２回)	○	○
											浴室の水質検査(年２回)		○	○
温泉の使用	○			－	－	－	－	×	－					
ＬＰＧの使用	○			×	×	－	－	×	×					
火災による大気汚染			○	×	×	－	－	×	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	217		
事務事業名	遠山郷観光戦略プロジェクト事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H23	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017
				飯田市観光振興ビジョン
				遠山郷観光戦略計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	遠山郷への交流人口、指定管理施設
	意図	遠山郷の一体的な観光振興と地域活性化

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	三遠南信自動車道の全線開通を見据えたとき、飯田市及び南信州の観光振興にとって遠山郷は重要な役割を果たすことになることから、その拠点施設となる道の駅遠山郷の今後の在り方の検討と施設の機能整備が必要となります。また、遠山郷を活性化したいという地域への熱い思いを持った若者の活動を地域が一丸となって後押しし、市もそれを支援することで、地域の雇用の場の創出や外部からの移住定住に結び付けていく必要があります。

29年度取組

取組内容

平成27年度に実施した和歌山大学との共同研究による「道の駅遠山郷総合市場調査」をもとに、観光を切り口とした遠山郷全体の地域活性化策とその核となる道の駅遠山郷の施設機能整備計画について地域・大学・市の連携により取り組みます。

ユネスコエコパーク・ジオパークエリア４市町村の連携により南アルプス山岳高原観光の誘客促進を図ります。

移住定住促進プロジェクトの先駆的モデルとして、遠山郷の将来に熱い思いを持った若者グループの活動を支援し、思いを形にできる仕組みづくりや事業化に向けた取り組みを行います。

経費の内容	事業費(千円)
遠山郷地域活性化促進事業費	1,512
遠山郷観光事業実施補助金	3,700
遠山郷観光協会体制強化補助費	7,500
遠山郷の若者の思い実現PJ事業費	5,000
その他の経費	1,483

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
道の駅遠山郷施設機能整備計画策定事業	事業	1			
南アルプス広域連携誘客事業	事業	1			
遠山郷の若者の思い実現PJメンバー	人	10			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	19,195
国庫支出金	2,500
県支出金	250
地方債	0
その他	16,445
一般財源	0

特定財源内訳及び補足事項

（国）地方創生推進交付金（1/2）
（県）登山ポスト回収事務費補助金
（そ）過疎地域自立促進基金繰入金

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	20	1	19,195 / 0	遠山郷観光戦略プロジェクト事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 217　事業名 遠山郷観光戦略プロジェクト事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	218		
会計	一般会計				
事務事業名	上村観光施設維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H18	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				遠山郷観光戦略計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	上村地区内の産業観光関連施設
	意図	施設の適切な管理運営

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	上村地区内の産業観光関連施設は、飯田市公共施設マネジメント基本方針に基づく優先検討施設に位置付けられており、施設の老朽化等の課題を分析し、効率的かつ効果的な維持修繕による長寿命化や管理運営の見直しなど、地域や関係団体と協働して今後の在り方を検討していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	産業観光施設の長寿命化や観光客の満足度及び利便性の向上により誘客につながる改修工事を適切に実施します。 観光客の来訪にあたり、地理的制約のある下栗地区での受入れについて、地域住民の生活環境の確保と観光客が安全に観光できる体制を維持管理します。	観光施設管理業務委託料	9,649
		観光施設整備工事費	1,167
		観光客受入体制整備費	2,611
		観光施設借地料	1,998
		観光施設修繕料	1,360
		その他の経費	426

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	産業観光関連施設の維持管理	施設	14			
	下栗の里観光客受入数	人	55,600			
	観光施設整備事業	事業	1			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	17,211	(県) 市町村合併特例交付金
	国庫支出金	0	
	県支出金	1,100	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	16,111	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	20	2	17,211 / 0	上村観光施設管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 218　事業名 上村観光施設維持管理事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	32	事業No.	219		
会計	一般会計				
事務事業名	南信濃観光施設管理事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	観光課	開始	H18	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		飯田市観光振興ビジョン
				遠山郷観光戦略計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	南信濃地区内の産業観光関連施設
	意図	施設の適切な管理運営

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	南信濃地区内の産業観光関連施設は、飯田市公共施設マネジメント基本方針に基づく優先検討施設に位置付けられており、施設の老朽化等の課題を分析し、効率的かつ効果的な維持修繕による長寿命化や管理運営の見直しなど、地域や関係団体と協働して今後の在り方を検討していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	産業観光関連施設の長寿命化や観光客や利用者の満足度及び利便性の向上につながる維持修繕を適切に実施します。	観光施設管理業務委託料	11,132
		観光施設維持管理費	9,527
		観光施設借地料	3,874
		観光施設整備工事費	7,614
		観光施設修繕料	270
		道の駅連絡会負担金	70
		その他の経費	741

活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	産業観光関連施設の維持管理	施設	26			
	観光施設整備事業	事業	1			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費 計	33,228	(そ) 諸収入
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	1,193	
	一般財源	32,035	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	4	20	4	33,228 / 0	南信濃観光施設管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 219　事業名 南信濃観光施設管理事業　　観光課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況